

## 平成29年12月度活動報告

### 1. 総括

師走の12月も皆様に支えて頂きながら、議員活動に邁進することができました。誠に有難うございます。12月議会(会期:11月28日~12月19日)も滞りなく閉会し、補正予算約2億7千万円が議決されました。また、平成28年度の決算についても認定され、本会議で賛成討論をさせて頂きました。平成29年は、平成28年度に取り組んでおりました「自主通学圏地域からの新規スクールバスの運行」が開始され、「助かりました。ありがとう。」というもったいないお言葉を頂きました。また、切実なお声を頂き取り組んでおりました、敦賀湾漂着ゴミに対して、議会内外で様々動いて行く中で、管理者は福井県ですが敦賀市の予算を含む、目に見える支援のスキーム作りなどが進むなど、少しでも自分の活動が敦賀に住まわれる市民の皆さまの環境改善に繋がってきている事を感じる事ができ、益々やる気になる1年でありました。



私の持論ではありますが、政治・行政は常に縁の下の力持ちとして機能すれば良いと感じております。主役である民間の皆様が本当に住みやすい、経済活動がしやすい、子育てがしやすいと肌で感じられるような環境改善を地道に行っていくことが重要であり、仕事と考えます。市民の皆様の血税の使途を議論させて頂いておりますので、議員としてどのような議論が最善の改善になっていくかを常に頭に入れて今後も活動していく所存です。

### 2. 平成30年からの敦賀市政について

平成30年に入りますと、平成の御代も残り約1年4カ月との報道も出ております。そのような時代の変わり目で、敦賀市は今後大きな事業が続いて行きます。北陸新幹線敦賀開業が約5年後に迫る中で、平成30年9月福井国体開催、福井県で初めての「併設型小中一貫校」の開校、約半世紀ぶりの「敦賀市庁舎、消防庁舎建て替え」、北陸新幹線の受け皿づくりとして「景観まちづくり刷新事業」による中心市街地の大規模工事など、敦賀の未来に非常に重要な事業が目白押しであります。平成30年はこのような大きな事業の方向付けがされる大切な1年になりますので、議員という立場でしっかりと市長・行政と建設的な議論をして、敦賀市で頑張られている市民の皆様にとって何が最良の選択かを常に考えて行動して結果が出せるように精進して参ります。今後ともご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます

### 3. 平成30年に特に議論していきたい事

#### ・ふるさと納税の活用についての情報公開と有意義な政策への活用について

理由:少なからず敦賀市がふるさとの方々の思いが詰まった納税があると考え、またそれ以外にも希望する用途を選択され納税されている方々が大半であると思います。そのような思いに応えられる分かりやすい納税の活用が必要と考えるため。

#### ・福井国体に向けての競技開催施設のルール最適化について

理由:国体開催が近付いてくる中、他県からも多くの選手が合宿や練習に来敦する機会が増える中、既存の施設使用ルールでは柔軟でスムーズ対応が難しいと考える施設もあると考えます。敦賀市の大会で良かったなと思える環境づくりを応援したい為、提案していきます。

以上